野菜価格安定対策事業

資料１－１

令和９年度予算概算要求額（所要額）15,693百万円（前年度 15,703百万円）

＜対策のポイント＞

野菜（指定野菜・特定野菜）の生産・出荷の安定と消費者への安定供給を図るため、産地単位での計画的な生産・出荷に取り組むとともに、**価格低落時には生産者補給金等を交付**します。

＜政策目標＞

野菜の取引価格の安定化（取引価格が平年比80%~120%に収まる期間の割合：56%［平成28年度］→ 72%［令和11年度まで］）

＜事業の内容＞

1．指定野菜価格安定対策事業

「指定産地」で生産され、卸売市場に出荷される「指定野菜」の価格が著しく低下した場合に、補給金を交付します。

2．特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

「特定産地」で生産され、卸売市場に出荷される「特定野菜」等の価格が著しく低下した場合に、補給金を交付します。

3．契約指定野菜安定供給事業

「指定産地」で生産される「指定野菜」の契約取引を対象に、不作時に不足分を市場から調達した場合等に、交付金等を交付します。

4．契約特定野菜等安定供給促進事業

「特定産地」で生産される「特定野菜」等の契約取引を対象に、不作時に不足分を市場から調達した場合等に、交付金等を交付します。

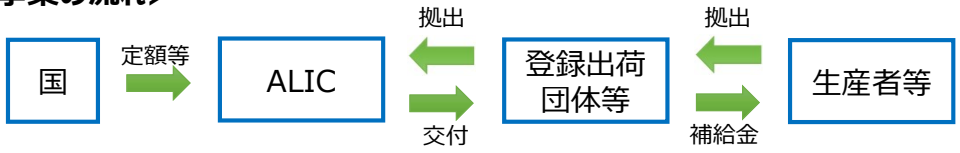
5．契約野菜収入確保モデル事業

産地を問わず、「指定野菜」の契約取引を対象に、契約数量の確保に必要な余裕作付分の出荷調整等を行った場合等に、交付金を交付します。

6．緊急需給調整事業

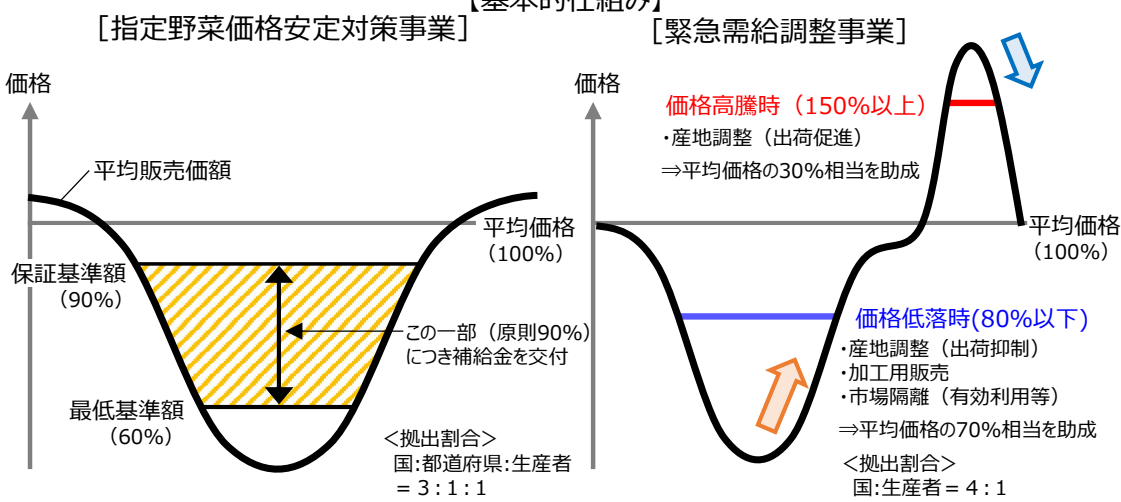
「指定野菜」のうち重要野菜・調整野菜の価格が著しく低下し、出荷調整を行った場合等に、交付金を交付します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

【基本的仕組み】



指定野菜（15品目）：国民消費生活上重要な野菜

キャベツ※、きゅうり、さといも、だいこん※、トマト、なす、にんじん※、ねぎ、はくさい※、ピーマン、ブロッコリー、レタス※、たまねぎ※、ばれいしょ、ほうれんそう

※は重要野菜または調整野菜

特定野菜（34品目）：国民消費生活上や地域農業振興の観点から指定野菜に準ずる重要な野菜

アスパラガス、いちご、えだまめ、かぶ、かぼちゃ、カリフラワー、かんしょ、グリーンピース、ごぼう、こまつな、さやいんげん、さやえんどう、しゅんぎく、しょうが、すいか、スイートコーン、セルリー、そらまめ、ちんげんさい、生しいたけ、にら、にんにく、ふき、みずな、みつば、メロン、やまのいも、れんこん、ししとうがらし、わけぎ、らっきょう、にがうり、オクラ、みょうが

［お問い合わせ先］　農産局園芸作物課　（03-3502-5961）

持続的生産強化対策事業のうち

加工・業務用野菜の国産シェア奪還

令和９年度予算概算要求額　725百万円（前年度 338百万円）

＜対策のポイント＞

加工・業務用野菜の国産シェア奪還に向け、生産者、中間事業者、実需者等が連携して行う、**高温、渇水等の影響に対応できる生産・流通・販売方式の変革**や**作柄安定技術の導入**、産地における**革新的な一次加工機械・鮮度保持技術の導入、施設園芸の総合的なマネジメントができる経営人材の育成**等、実需者ニーズに対応した**国内産地による周年安定供給を確立するための取組等を支援**します。

＜事業目標＞

加工・業務用野菜の国産切替量（32万トン［令和12年度まで］）

＜事業の内容＞

時代を拓く園芸産地づくり支援

１．国産野菜周年安定供給強化事業

加工適性の高い品種や大型コンテナの導入など**生産・流通・販売方式の変革**、作柄**安定技術の導入**等を支援します。（助成単価:15万円/10a（定額））

※高温、渇水等による被害や影響の回避・軽減のための取組、産地における一次加工機械の導入等の取組を優先的に支援。

２．野菜産地加工技術等導入支援事業

実需者ニーズに応じた野菜の周年安定供給に向けて、たまねぎの皮むき機の導入など**産地における一次加工機械や鮮度保持技術の導入**等を支援します。

３．国産野菜供給体制づくり支援事業

国産野菜の周年安定供給に資する**生産者、実需者等を繋ぐマッチング**等の全国的な取組に係る経費を支援します。

４．青果物流通合理化支援事業

サプライチェーンの連携強化に向けた**生育予測・集出荷システム等の導入・連携**、流通業者等の受入体制に合わせた**出荷規格の見直し等の実証**を支援します。

５．施設園芸新技術等展開推進事業

施設園芸の事業計画から栽培管理、運営、販売に至る一連のプロセスを**総合的にマネジメントできる経営人材の育成**、施設園芸事業者の**経営実態調査・分析**や**先進事例の横展開**、**植物工場システムの標準化**の取組を支援します。

＜事業の流れ＞

国 →（定額）→ ALIC →（定額）→ 民間団体等　（１の事業）

国 →（定額、1/2以内）→ 民間団体等　（２、３、４、５の事業）

＜事業イメージ＞

安定的な生産・出荷に取り組む産地への支援

＜生産・流通・販売方式の変革＞



○ 加工適性や高温耐性の高い品種の導入
○ 農業用機械、大型コンテナの導入
○ 予冷庫の利用 等

＜作柄安定技術の導入＞



○ 排水・保水対策
○ 病害虫防除対策
○ 地温安定対策 等

一次加工等に取り組む産地への支援

＜一次加工機械等の導入＞



○ たまねぎの皮むき機やキャベツの芯抜き機、鮮度保持設備の導入
○ 加工及び衛生管理に係る研修受講、衛生関係資材　等

周年安定供給のための体制づくりへの支援

＜マッチングイベントの開催、フォローアップ＞



○ 生産者・実需者のニーズ把握、イベントと併せたセミナーや意見交換の実施
○ マッチング後における取引手順、契約書類作成等に係る助言・指導

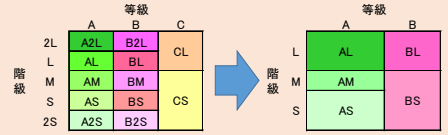
青果物の流通合理化への支援

＜サプライチェーン内の連携強化＞



○ サプライチェーン内のデータの有効活用
○ 情報共有体制の合理化

＜出荷規格の見直し・簡素化＞



施設園芸新技術等展開推進への支援

＜植物工場の実態調査＞



○ 植物工場の経営状況や海外展開等の実態を調査

＜施設園芸の中核人材育成＞



○ 総合的なマネジメントできる経営人材の育成

＜植物工場システムの標準化に向けた検討＞



○ 植物工場システムの比較検討に資する、標準的な評価項目及び評価方法を整理　等

実需者ニーズに対応した国内産地による周年安定供給を確立

［お問い合わせ先］　農産局園芸作物課　（03-3501-4096）